

## 今後の市立保育園のあり方について

### 1 今までの経過について

- ・令和元年9月にみさわ保育園の民営化方針を決定し、令和3年より民営化のガイドラインや公募要領の作成等を予定していた。
- ・令和3年7月、今後の保育需要を見極めるため、民営化実施の可能性を探る判断材料の1つとして、近隣の社会福祉法人133に市場調査を行ったが、昨今の未就学人口減少、保育ニーズの減少等が深刻化する見通しの中で、応募の意向があった法人は条件に満たない結果となった。
- ・その他、今後も保育需要の減少が見込まれることを踏まえると、みさわ保育園を含め保育園全体のあり方の再検討を行う必要があると判断した。  
具体的に、令和6年4月からとしていた民営化の開始時期を令和7年度以降とし、その間、今後の保育需要の動向を引き続き分析し、市全体の需給バランスの調整を考慮しながら、今後の保育園のあり方を含めて検討していくこととした。

### 2 今後について

- ・コロナ禍にあって急激に進む人口減少や社会情勢の変化等の状況を踏まえ、今後の保育ニーズの変化に対応していくためにも、今一度、みさわ保育園を含め今後の日野市の保育行政のあり方を検討しているところである。
- ・日野市の保育行政の今後のあり方の中で、公立園全体の方向性が具体的に決まり次第、改めてご報告を行う。

### 《参考》令和6年度の入園のしおりの記載

#### 14. 市立保育所について

##### 市立保育所の運営主体の変更について

市は、日野市行政財政改革大綱に基づき、市立保育所の運営を民間に順次移行して参りました。昨今、人口減少及び少子化が急速に進み、未就学児人口が減少傾向にある中、将来にわたり保育サービスを維持・継続できるよう、今後の保育ニーズの動向や社会情勢の変化などを踏まえ、市の保育行政のあり方を検討する必要があります。

現在、市立保育所の民間移行等の進め方を検討しているところですので、詳細が決まりましたら市民の皆様にお知らせをいたします。